



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社フーディソン 上場取引所 東
 コード番号 7114 URL <https://foodison.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山本 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 内藤 直樹 TEL 050-1754-1990
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期中間期 | 3,634 | 13.2 | 37 | △56.7 | 37 | △56.0 | 17 | △76.5 |
| 2025年3月期中間期 | 3,211 | 7.9 | 86 | 64.2 | 85 | 64.7 | 75 | 31.4 |

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 17百万円 (△76.5%) 2025年3月期中間期 75百万円 (31.4%)

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年3月期中間期 | 3.96 | 3.93 |
| 2025年3月期中間期 | 16.79 | 16.33 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年3月期中間期 | 3,130 | 2,260 | 72.2 |
| 2025年3月期 | 3,217 | 2,292 | 71.2 |

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 2,258百万円 2025年3月期 2,291百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期 | ー | 0.00 | ー | 0.00 | 0.00 |
| 2026年3月期 | ー | 0.00 | ー | 0.00 | 0.00 |
| 2026年3月期（予想） | ー | ー | ー | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,000 | 16.5 | 220 | 31.4 | 220 | 30.1 | 180 | 26.1 | 39.85 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2026年3月期中間期 | 4,633,140株 | 2025年3月期 | 4,595,140株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期中間期 | 143,533株 | 2025年3月期 | 60,133株 |
| ③ 期中平均株式数 (中間期) | 2026年3月期中間期 | 4,512,026株 | 2025年3月期中間期 | 4,526,990株 |

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 5 |
| 中間連結損益計算書 | 5 |
| 中間連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (中間連結損益計算書に関する注記) | 7 |
| (中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 7 |
| (セグメント情報等の注記) | 8 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化を背景に、緩やかに回復基調を示しました。一方で、国際的にはロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東地域の不安定化、米国の保護主義的な通商政策への懸念など、不透明な要因が継続しており、国内外経済の先行きには依然として注意が必要な状況です。

当社グループが属する食産業においては、コロナ禍で大きく減退した個人消費が回復し、訪日外国人観光客によるインバウンド需要も増加傾向にあります。しかしながら、長期化する原材料費やエネルギーコストの高騰など事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループは「世界の食をもっと楽しく」をミッションとし、「生鮮流通に新しい循環を」をビジョンに掲げ、事業運営に取り組んでまいりました。

BtoBコマースサービスでは、新規ユーザーの獲得および休眠ユーザーの掘り起こしなど、アクティブユーザー数の増加に向けた施策を実施いたしました。BtoCコマースサービスでは、商品構成の改善やイベントによる集客強化を進め、既存店の売上維持とともに、新店舗の出店も行い、都市型小売の展開を拡大しました。HRサービスにおいては、生鮮スーパーマーケットや飲食店に特化した人材紹介業を展開し、営業活動の強化を通じて顧客基盤の拡大をしました。当中間連結会計期間における経営成績は、売上高3,634,723千円（前年同期比13.2%増）、営業利益37,300千円（前年同期比56.7%減）、経常利益37,457千円（前年同期比56.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益17,886千円（前年同期比76.5%減）となりました。

主要なサービス別の概況は以下のとおりであります。なお、当社グループは生鮮流通プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておらず、サービス別に区分して記載しております。

① BtoBコマースサービス

当中間連結会計期間における売上高は2,897,853千円（前年同期比14.2%増）となりました。

魚ポチのアクティブユーザー数及びARPUが堅調に推移した結果、売上高は前中間連結会計期間と比較して増加いたしました。

② BtoCコマースサービス

当中間連結会計期間における売上高は543,712千円（前年同期比15.5%増）となりました。

2025年3月に1店舗、4月に1店舗新規出店により店舗数が増加（7月に閉店により1店舗減少）したことにより、売上高は増加いたしました。なお、2025年9月末時点において9店舗を運営しております。

③ HRサービス

当中間連結会計期間における売上高は193,158千円（前年同期比5.1%減）となりました。

既存エリアにおけるスーパー・小売店への営業に加え飲食店への営業を注力するも、売上高は前中間連結会計期間と比較して減少いたしました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は3,130,287千円（前連結会計年度末：3,217,623千円）となり、前連結会計年度末と比較して87,336千円の減少となりました。

流動資産は2,802,580千円（前連結会計年度末：2,893,110千円）となり、前連結会計年度末と比較して90,529千円の減少となりました。主な要因として、商品が29,056千円増加した一方、現金及び預金が131,676千円、売上債権が16,390千円、未収入金が11,911千円減少したこと等によります。

固定資産は327,706千円（前連結会計年度末：324,512千円）となり、前連結会計年度末と比較して3,193千円の増加となりました。主な要因として、無形固定資産が4,604千円、有形固定資産が1,648千円増加した一方、繰延税金資産が1,714千円減少したこと等によります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債は869,376千円（前連結会計年度末：925,321千円）となり、前連結会計年度末と比較して55,945千円の減少となりました。

流動負債は584,825千円（前連結会計年度末：622,838千円）となり、前連結会計年度末と比較して38,012千円の減少となりました。主な要因として、未払金が24,007千円、契約負債が8,398千円、株主優待引当金が6,980千円減少したこと等によります。

固定負債は284,550千円（前連結会計年度末：302,483千円）となり、前連結会計年度末と比較して17,932千円の減少となりました。主な要因として、資産除去債務が1,689千円増加した一方、長期借入金が18,276千円、リース債務が1,624千円減少したこと等によります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は2,260,911千円（前連結会計年度末：2,292,302千円）となり、前連結会計年度末と比較して31,391千円の減少となりました。要因として、新株の発行に伴う払込資本24,720千円の計上による資本金、資本剰余金の増加及び親会社株主に帰属する中間純利益17,886千円計上による利益剰余金の増加が生じた一方、自己株式の取得により自己株式が74,697千円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における当社グループの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ121,676千円減少し、1,914,277千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は14,893千円（前年同期は35,008千円の獲得）となりました。主な要因として、税金等調整前中間純利益26,100千円、売上債権の減少額16,390千円、減価償却費14,332千円、未収入金の減少額11,911千円の増加要因と、棚卸資産の増加額28,733千円、法人税等の支払額8,691千円、株主優待引当金の減少額6,980千円の減少要因等によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において投資活動の結果支出した資金は26,215千円（前年同期は13,015千円の獲得）となりました。主な要因として、有形固定資産の取得による支出26,278千円、無形固定資産の取得による支出4,814千円、資産除去債務の履行による支出2,305千円、敷金の差し入れによる支出1,484千円の減少要因等によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において財務活動の結果支出した資金は110,354千円（前年同期は345,334千円の支出）となりました。主な要因として、自己株式の取得による支出74,697千円、自己株式の取得のための預け金の増加額44,836千円、長期借入金の返済による支出14,280千円の減少要因と株式の発行による収入24,720千円の増加要因等によります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2025年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,055,954 | 1,924,277 |
| 売掛金 | 605,616 | 589,225 |
| 商品 | 174,168 | 203,224 |
| 貯蔵品 | 1,192 | 870 |
| 未収入金 | 22,409 | 10,497 |
| その他 | 33,769 | 74,484 |
| 流動資産合計 | 2,893,110 | 2,802,580 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 223,021 | 224,670 |
| 無形固定資産 | 788 | 5,393 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 11,486 | 9,772 |
| その他 | 92,449 | 91,104 |
| 貸倒引当金 | △3,233 | △3,233 |
| 投資その他の資産合計 | 100,702 | 97,642 |
| 固定資産合計 | 324,512 | 327,706 |
| 資産合計 | 3,217,623 | 3,130,287 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 311,733 | 312,915 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 31,890 | 35,886 |
| リース債務 | 3,636 | 3,216 |
| 未払金 | 116,065 | 92,057 |
| 未払費用 | 73,564 | 77,384 |
| 未払法人税等 | 18,001 | 16,853 |
| 契約負債 | 17,721 | 9,323 |
| 返金負債 | 6,444 | 3,873 |
| 株主優待引当金 | 9,292 | 2,311 |
| その他 | 34,488 | 31,002 |
| 流動負債合計 | 622,838 | 584,825 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 153,950 | 135,674 |
| リース債務 | 6,298 | 4,674 |
| 資産除去債務 | 140,146 | 141,835 |
| その他 | 2,088 | 2,366 |
| 固定負債合計 | 302,483 | 284,550 |
| 負債合計 | 925,321 | 869,376 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 877,662 | 890,022 |
| 資本剰余金 | 1,367,927 | 1,380,287 |
| 利益剰余金 | 134,519 | 152,124 |
| 自己株式 | △88,988 | △163,686 |
| 株主資本合計 | 2,291,121 | 2,258,748 |
| 新株予約権 | 1,181 | 2,162 |
| 純資産合計 | 2,292,302 | 2,260,911 |
| 負債純資産合計 | 3,217,623 | 3,130,287 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 3,211,277 | 3,634,723 |
| 売上原価 | 2,029,706 | 2,364,212 |
| 売上総利益 | 1,181,570 | 1,270,510 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,095,335 | 1,233,210 |
| 営業利益 | 86,235 | 37,300 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 188 | 1,848 |
| 物品売却益 | 231 | 254 |
| 講演料等収入 | 72 | 27 |
| 貸倒引当金戻入額 | 356 | — |
| その他 | 136 | 120 |
| 営業外収益合計 | 984 | 2,250 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,791 | 1,199 |
| その他 | 229 | 893 |
| 営業外費用合計 | 2,020 | 2,093 |
| 経常利益 | 85,199 | 37,457 |
| 特別損失 | | |
| 店舗閉鎖損失 | — | 4,390 |
| 固定資産除却損 | 0 | 424 |
| 減損損失 | — | 6,543 |
| 特別損失合計 | 0 | 11,357 |
| 税金等調整前中間純利益 | 85,199 | 26,100 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 12,422 | 6,780 |
| 法人税等調整額 | △3,214 | 1,433 |
| 法人税等合計 | 9,208 | 8,213 |
| 中間純利益 | 75,991 | 17,886 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 75,991 | 17,886 |

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) |
|----------------|--|--|
| 中間純利益 | 75,991 | 17,886 |
| 中間包括利益 | 75,991 | 17,886 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 75,991 | 17,886 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 85,199 | 26,100 |
| 減価償却費 | 12,504 | 14,332 |
| 株式報酬費用 | 169 | 981 |
| 減損損失 | — | 6,543 |
| 店舗閉鎖損失 | — | 4,390 |
| 有形固定資産除却損 | 0 | 252 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △356 | — |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 100 | — |
| 株主優待引当金の増減額 (△は減少) | — | △6,980 |
| 返金負債の増減額 (△は減少) | 2,274 | △2,570 |
| 受取利息 | △188 | △1,848 |
| 支払利息 | 1,791 | 1,199 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 67,932 | 16,390 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △30,981 | △28,733 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 2,083 | 11,911 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △36,486 | 1,181 |
| その他 | △46,459 | △19,040 |
| 小計 | 57,583 | 24,110 |
| 利息の受取額 | 159 | 1,565 |
| 利息の支払額 | △1,792 | △1,200 |
| 店舗閉鎖損失の支払額 | — | △890 |
| 法人税等の支払額 | △20,941 | △8,691 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 35,008 | 14,893 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 20,000 | 10,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5,211 | △26,278 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △260 | △4,814 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △10,000 | △1,484 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 10,000 | — |
| 資産除去債務の履行による支出 | — | △2,305 |
| その他 | △1,512 | △1,333 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 13,015 | △26,215 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △270,710 | △14,280 |
| 株式の発行による収入 | 16,030 | 24,720 |
| 自己株式の取得による支出 | △88,803 | △74,697 |
| 自己株式取得のための預け金の増減額 (△は増加) | — | △44,836 |
| その他 | △1,850 | △1,259 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △345,334 | △110,354 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △297,309 | △121,676 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,301,730 | 2,035,954 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 2,004,420 | 1,914,277 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) |
|--------|--|--|
| 給料及び手当 | 367,819千円 | 421,855千円 |
| 荷造運送費 | 197,049 | 252,151 |

※2 固定資産除却損

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

リース契約解約に伴うリース資産除却損であります。

※3 店舗閉鎖損失

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

店舗閉鎖損失の内容は、店舗閉鎖に伴う賃貸借契約解約損及び撤去費用であります。

※4 減損損失

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

当中間連結会計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(1) 減損損失を認識した資産グループの概要

| 場所 | 用途 | 種類 | 減損損失（千円） |
|---------|------------------------|--------|----------|
| 東京都千代田区 | (店舗) | 建物 | 6,008 |
| | sakana bacca エキュート秋葉原店 | 建物附属設備 | 534 |

(2) 減損損失の認識に至った経緯

当中間連結会計期間において、sakana bacca店舗の内、収益性の低下した店舗においては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（6,543千円）として特別損失に計上しております。

(3) 資産のグルーピングの方法

当社グループは、単一事業である生鮮流通プラットフォーム事業セグメントを基礎として、資産をグルーピング化して減損の検討を行っております。その内、sakana bacca店舗においては、主に管理会計上の最小単位である店舗を基本単位として資産のグルーピングを行っております。

(4) 回収可能価額の算定方法

当資産グループの回収可能価額は、使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローが見込めないため、零として評価しております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) |
|------------------|--|--|
| 現金及び預金勘定 | 2,024,420千円 | 1,924,277千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | △20,000 | △10,000 |
| 現金及び現金同等物 | 2,004,420 | 1,914,277 |

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、生鮮流通プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。